

福祉サービス第三者評価結果

事業所

別府第2ワークセンター

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和7年11月11日

③事業者情報

名称:	社会福祉法人 太陽の家 別府第2ワークセンター	種別:	就労継続支援A型事業
代表者氏名:	管理者 恒松 克巳	定員(利用人数):	20 名 ()名
所在地:			大分県別府市大字内竈中無田1399番地1
電話番号:			0977-66-0277

④総評

◇評価の高い点

【中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。】

2022年度から2030年度までの中・長期計画を策定しており、将来目標として「障がいのある人が取り残されることのない社会」を掲げている。「働く、暮らす、地域環境」の3つ柱にそれを推進していくため「組織の基盤」が構成されている。各項目毎に重点目標を掲げて、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な活動内容になっている。

評価は年度単位で実施しており、理事会、評議会に報告している。また、中・長期計画は3期に分かれており、各期の終了時に計画の見直しを行っている。

【地域との関係が適切に確保されている。】

地域の方々と共に生活をする福祉の町づくりを進めており、利用者が地域の人々と交流でき、余暇が楽しめる必要な情報を、ラウンジの掲示板で情報提供を行っている。また、地域活動やクラブ活動、レクリエーション行事の参加については、必要があれば関係する職員(関係=職場担当、クラブ担当)が参加している。地域との交流については、法人が毎年実施する夏祭りや、更に、今年度より実施している地域連携推進会議のメンバーに地域の方々、利用者、利用者の家族、職員等が参加しており、地域社会との交流の機会が広がっている。

【利用者を尊重する姿勢が明示されている。】

法令遵守(コンプライアンス)規程、ハラスメント防止規程、利用者人権擁護規程等を策定しており、利用者を尊重した福祉サービスの提供に取り組んでいる。また、職員に対しては、eラーニング等で研修を実施している。なお、年に1回利用者満足度調査を実施しており、利用者の意向等の状況の把握、評価を行っている。

【利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。】

個別支援計画作成時、一人ひとりモニタリング等を実施し、利用者の意向を踏まえた個別支援計画を作成している。

【利用者的心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。】

・個別に定期面談を実施し、意思疎通を図っている。状況によっては家族や関係機関との連絡調整を行っている。

・外国人利用者(聴覚障害)の方に対し、翻訳アプリの活用や、手話通訳を依頼し、コミュニケーションを図っている。

【利用者に応じて適切な仕事内容等となるような取組と配慮を行っている。】

・個別支援計画作成時に、利用者の障害、配慮事項を把握し、ニーズに沿った作業を提供するよう努めている。

・1回/年に業務内容、取り組み、勤務状況を考慮した考課査定を実施し、昇給について検討を行っている。

⑤第三者評価に対する事業者のコメント

第三者評価を受審した結果、多くの良い点に加え、課題や改善点にも気付くことができました。評価報告書は職員間で共有し、今後も福祉サービスの質の向上に取り組んでまいります。

⑥各評価項目にかかる評価結果(別紙)